**現場の週報から（令和2年4月6日～5月3日）**

**【4月6日～5月3日】**

■デイサービスわかなの杜：猪狩健介さん

・7日花見ドライブ実施しました。岩切の七北田川沿い～岩切東光寺～泉ふるさと村～将監～東向陽台～歩坂町にかけてドライブをしました。どの場所も満開で特に将監は桜のトンネルで皆さんから歓声が上がり『見事だね～』と、また、車内から降りれない状況でも『とても気分転換になった、こんな状況でもドライブに誘ってくれてありがとう』と嬉しいコメントがきかれております。来週は事業所内にてあんみつ作りを予定しております。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・7日2階ユニット利用者さんとスタッフで、加瀬沼公園までお花見ドライブへ行っています。コロナウイルス流行のため、ほとんど老健内で過ごすことが多かった利用者さん達ですが、当日は天気も良く、また短時間ではありましたが公園内を散策することも出来、喜ぶ顔を見ることが出来ました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・桜満開の中、ドライブに出かけました。久しぶりの外出に皆さん「よかったねー」と喜ばれていました。

・9日コロナウイルスの感染を想定した時に備え、まずは手順を読み合わせをし、実際に使用する用具を準備してみました。12日出勤しているスタッフ全員で再度読み合わせ、実際に用具を使用し、確認しました。

・職員Wさんがリードクッキングペーパーを使用しマスクを作って下さいました。当面、スタッフはこれを使用したいと思います。また、ご利用者さんのご家族から、手作りの布で作ったマスクを頂きました。ご利用者さんと大事に使わせていただきたいと思います。



■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・職員Hさんは先週で利用が終了となるTさん（若い頃ダンスをよくしていて楽しかった思い出がある）のために、自前の衣装を持参してTさんとの思い出・楽しみの時間を演出して下さった。ご本人からも「楽しいね、良かったな～」と、笑顔で喜びを話して下さいました。食べたいものをお出しするなど、できることは皆さんでさせて頂いたので、教えて頂いたこと・気が付いたことを今後に活かしていけるよう頑張っていきたい。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・先週火曜には外食に行きたい方の代替案としてお花見弁当をとって、汁物はおなじみKさんの手作りのうーめん汁、おやつに手作りのみたらし団子を作り、みんなで食べました。彩りがとても良く、普段食事を残される方も、『見るだけでもうれしい。』と話され、美味しそうに食べられていました。午後からドライブに行き、満開の桜を車の中から見学。子供のようにキャッキャと声を出して喜ぶ方や、しみじみ見学される方。来年は桜の下でお弁当が食べたい！！と話していました。私たちにとっても桜は特別なものだけど、やはりお年寄りにとってはもっと大切な、尊い存在なのだなぁと感じ、来年こそ、思う存分桜が見物できる世の中になっていてほしいと職員一同願っています。山崎先生の言葉にあったように、大切に関わってきた身近なお年寄りのために、何ができるか、職員一人一人の行動が試されていると思います。以前よりドライブや外出も行けなくなり、プライベートでも出かけたり、人に会ったり、飲みに出かけたりできなくなり、とても不自由、退屈な思いをみなさんしています。私たちの職場でも、多少意識の違いがありましたが、今後は自分たちの行動が隣にいるお年寄りの命を奪いかねないことを強く自覚し、この不自由さは何のための我慢なのかを考え、日常生活の過ごし方をもう一度見直していきたいと話し合っています。

■杜の家かぐら：冨沢直人さん

・オープンより1週間がたち、利用される方、職員とも少しずつお互いを理解してきました。互いにどう関わればよいのか、ぎこちない部分もありましたが、日中の過ごし方で笑顔も多くみられるようになっています。今回新人さんと中途採用の方もおりますが、話をする時間をしっかりと持ち、一緒に成長していける場所にしたいと思います。

■グループホームゆかりの杜：梅村卓也さん

・散歩。外出が出来ない事があり、ご本人達に確認しながら、近隣を散歩しております。近隣の公園で桜が咲いており、少人数ごと見に行かれております。今日と言う日は、今日しかなく、来年同じメンバーで見る事は難しいかと思っております。今出来る事を皆さんと一緒にしていければと思います。

・Nさんとのお話。当たり前についてNさんとお話をしました。コロナウイルスで今までの生活（外食、外出、関わりの大切さ（人や地域等の自然との触れ合い）、娯楽等について）が当たり前と感じておりましたが、昔の当たり前は今とは違う事。今とは違い何もない中でどの様に生活をしていくかが当たり前だったと思います。当事者の方の昔の生活、当たり前を考える機会となっております。見えないウイルスでの対応を行いながら予防をしていきたいと思います。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・9日に少人数で換気をしながら、大河原の一目千本桜や、桜が咲いている場所を巡ってきています。10日、老健の中庭の桜を見ながら、お花見団子を食べました。久しぶりのドライブに、皆さん笑顔が見られました。

・毎日、お出かけはできないので、手先の器用なご利用者さんと一緒にマスク作りを始めました。CHにある布を使い、間にガーゼを入れて、三つ折りにした物を作りました。水玉模様の可愛いらしいマスクができました。皆さん、作り方を説明したら、あっという間に縫い終わるので、今後も作成していきたいです。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・12日少ない人数ながら近くの田子の公園まで桜を見にドライブへ行っております。ご利用者の方からは、満開の桜を見て、すごく綺麗、また来年も来たいとの声があがり楽しい時間を過ごすことができました。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・ゆめみの隣にある公園の桜が満開になっています。花びらを手に取り「あら～食べられそうだな」と笑みをうかべ季節を感じられていました。職員の皆さんも手作りマスクを作って着用したりそれぞれが工夫してくださっています。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・6日にはミーティングをしました。ご利用者さんについてと、改めて関りをしっかりとしていきましょうと私からの提案でしたが、個々に思う所もあったようで薬作りなど早速、一緒に行っている姿が見られました。献立も昼に一緒に作る日を設け久しぶりに一緒に作る姿を見ました。麺類ものびてしまうと避けがちでしたが、冷めてもおいしいものを考えたりと、楽しいですね！



■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・コロナ拡大防止策について職員と共に取り組んでいます。先のことと考えるのではなく、今からやらなくてはいけないことを毎日職員に周知しています。マスク着用や感染防止策については毎朝清山会の取り組みをご利用者の前で読み合わせ、皆さんのご理解の下実施しています。お花見は人込みを避け、車内の換気に充分注意しながら出かけております。コロナに惑わされず、当たりまえの生活を送れるよう、予防策を徹底しながら楽しく過ごしていきます。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・コロナイメージ訓練：全スタッフへの周知は完了し、実施しています。意見集約中です。新たに購入が必要になるものもあり、意見集約しながら購入も進めています。

・先日、昼食後のちょっとした時間に入居者さんにお声がけし、桜の花を見にいくスタッフの姿がありました。現在の入居者さんの状態で、移動は1対1での対応が必要になりますが、お一人お一人にお声がけし、何度も行き来するスタッフ。戻られた入居者さんは「きれいだったね～。」と笑顔。ちょっとした時間ですが、素敵な時間でした。そんなちょっとした時間の積み重ねをこれからも大切にしていきたいです。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・事業所内でマスク作りを行っています。徐々にコロナウイルス関連の休みが目立つようになってきました。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・14日の全体ミーティングで改めて新型コロナウイルスのマニュアルを読み合わせしたいと思っております。また、入居施設の想定訓練も今週中には実施を行っていきたいと思います。

・コロナウイルスの感染防止のため、事業所職員一丸となって引き続き取り組めることを意識し行っていきたいと思います。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・街には色とりどりのお花が咲いています。ドライブとしてお花見に出かけたり。朝・夕の送迎の際に、桜が咲いているコースに変更（もちろん安全運転しています）したりと、今季の桜を皆で楽しんでいます。お年寄りからは、毎回見るたびに桜の色が違うは。綺麗ねなどと桜の風情をたのしんでいます。お花見などのイベントはできませんが、桜が咲き誇ることに、自然の強さ、寛容さをお年寄りと共に実感する毎日です。

■介護老人保健施設さくらの杜　通所リハビリテーション：丹野怜さん

・コロナウイルス対策で、大声での合唱は控えるとのことでレクリエーションや口腔体操の内容も変更しています。ご利用者にとって楽しくないレクや体操にならないようにし、笑い声も絶えないように過ごしていただけるように工夫していきたいと思います。送迎時、送迎コースをちょっと外れて今しか見れない一目千本桜や船岡自衛隊の側を通り、お花見をしながら送迎しました。ご利用者からは、「やっぱりいいね」「来年見られっかわかんないから」「ここの桜初めて見た」という声が聞かれました。来年もまたご利用者と一緒にお花見ができるといいなと感じる日でした。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・3月末に大崎市民病院の医師がコロナ感染したため、前後で通院したTさん、職員Cさん、奥さんの受診に同行したTさん、3名の症状を注意しておりましたが今のところ皆さん特に症状は見られておりません。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・お花見　裏の公園や洞雲寺に桜を見に行きました。丁度満開で「綺麗だね」「桜とは違う花の匂いもするね」「これかな？ん゛～しないな。こっちではないね」など、桜以外に咲いている花にも鼻を近づけて匂いを楽しんだりしていました。花を見にいく時も、少数で、かつ人との接触を注意し、帰設後は手洗いや手指消毒をきちんと実施しています。

**【4月13日～4月19日】**

■デイサービスわかなの杜：猪狩健介さん

・16日あんみつ作り実施致しました。全員マスク+手袋着用して実施しました。外に出れない分、皆さんからは『美味しかったよ～』と。気分転換になった様子で笑顔が多く見られました。現場ではラジオ体操やミュージックビデオ鑑賞など、気分転換できる取り組みを考えながら、現在出来る事を精一杯工夫しながら取り組んでいます。緊急事態宣言が出された中で、きっと皆さん不安は大きいとは思います。しかし、『このような状況でも、わかなの杜に来てくれることに感謝していきましょう』と毎朝声を掛け合いながらモチベーションを維持していくようにしています。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・新型コロナウイルスの影響で面会が出来ないため、16日AMにOさんご家族様とZoomを通しての面会を行いました。娘さんの顔を見た瞬間「○○ちゃんだ！」と笑顔になり、30分ほど会話を楽しまれておりました。最近なかなかお食事が進まないOさんのことを心配されていたご家族様でしたが、久しぶりに顔を見れて安心されたようです。このような事態ですので、Zoomのようなツールをどんどん活用していければと思っています。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・14日全体ミーティングの際に、「介護という命の現場を守るために：マニュアル200413」の読み合わせをスタッフで行っています。また、併せて入居施設での想定訓練についての手順もマニュアルに沿って確認し、ゾーニングについてもイメージを少しずつ職員と話し合いを行いながら膨らませている状況です。いざ実施するという時にこそ、慌てず冷静に行動できるように今の段階から命の現場を守る意識を事業所職員一人一人が持っていくことが改めて大切だと感じました。

・シフトの人員の都合上、お花見外出に行くことが難しい時がありましたが、職員Gさんの協力を得て、ご入居者の方をお花見ドライブへ連れていく機会を作ることが出来ました。お花見に出かけたご入居者の方も久しぶりに外出ということもあり、帰ってきてからは「とても綺麗だったよ。」ととても喜ばれておりました。今大変な時だからこそ、周囲の事業所の方と協力していくこと、お互いのことを気にかけていくことの重要性も認識出来たと思います。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・柴田町給食センターより野菜と食材のおすそ分けがありました。もやし4キロという量に入居者さんも職員もビックリです。「こんなのみたことないね～」ありがたくいただきましょうと言って手を合わせる入居者さん。食事の品数も増え皆さんでありがたくいただきました。もやし4キロの写真を撮り小学校が休みで自宅で過ごされている職員のお子さんんに見せたらビックリしてました～。って教えてくれました。ちょっとしたイベントとなりました。ごちそうさまでした！！

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・あいかわらずコロナウイルス感染予防のため、近所の散歩以外出来ない状態ではありますが、屋内でイベントを行ったり、敷地内のお花の手入れをしたりして過ごしています。みやぎの杜に通う方は、○○食べたい、という食の欲求の強い方も多いので、出前をしてくれる業者のチラシを用意しておいているのですが、そのチラシをみて、『かつ丼食べたいなぁ』というOさんの声から、16日にかつ丼、焼き肉弁当の出前を行いました。もちろん強制ではないので、普段のお食事が良い方、お肉系が良い方、皆さんに聞いて、職員も賛同したい方は賛同してみなさんでいただきました。もう動けないくらい満腹になり、おいしく食べれることは幸せだという想いを共有できたと思います。今回、この方はお肉が好きじゃないかもしれないな～と思いつつも、チラシをお見せしたところ、お肉大好きという言葉を聞いて、あたらめて、先入観で判断してはいけないと思いました。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・新型コロナという見えない恐怖でスタッフ皆不安の中、代表メッセージから勇気をいただき、そしてその声を信じ、皆が「介護という命の現場」を守ろうと奮闘しております。それは、本当に理念が現場に浸透してきていると感じながらも前向きに仕事をしているスタッフに頭が下がる思いです。そのわたし達の背中を後押ししているのがプライドであり、理念なのだと感じます。ある車の中でご利用者から、「世の中は、コロナの話題でこの先不安がいっぱいだけど、さくらデイに来るとその暗い気持ちが少なくなるよ。一瞬コロナのことを忘れてしまうんだ（笑）やっぱり、人と人のと関わりは大事だね！」わたしたちの仕事は、ご利用者へ希望の光をもたらすとても素晴らしい仕事なのだと改めて感じました。世間はまだまだコロナで暗いニュースが多いですが、ご利用者にはこれからも楽しい時間（日常的）を過ごしていただくため、これからもスタッフと一致団結してこの事態を乗り越え参ります。

香林寺のさくらが満開で、先週さくらデイでも、さくらを見に散歩出かけてました。



■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・17日にゆづるのミーティングを行い、川井さんからゾーニングについてのお話をしていただきました。（髙澤もきちんと理解出来ていなかったため17日に参加できなかったスタッフにも理解できるように、今後こまめに勉強会を開催していきたいと思います。高澤自身が体調万全ではないところもあり（精神的なものが大きいかと思いますが…）、昨夜、山崎先生から全職員宛てに送っていただいた新型コロナウイルスに関するメールは大変勉強になり、気持ち的にもラクになりました。ありがとうございます。引き続き、換気や手洗い、消毒を徹底して行いながら予防に努めていきたいと思います。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・杜家ゆづるでもご利用者さんと一緒に布マスク作りをしています。まずはご利用者さんに一枚配布できるよう作成しています。作成に励み、いつもお世話になっている鶴巻保育所さんや児童館に配布しようと思います。ご家族さんから布切れやガーゼをご寄付いただきました。ご利用の奥様方も沢山作らなきゃいけないねと目を輝かせていました。

■グループホームゆかりの杜：梅村卓也さん

・日中ベランダで日向ぼっこをしてお茶をしたりして過ごされております。ベランダを活用してお花を植えたり、野菜の苗を植えたりしながら、今出来る事を楽しみにして行っていきたいと思います。

■ショートステイわかなの杜：齋藤匡晴さん

・15日に室内イベントとしてプリン作りのイベントを行っております。ご利用者・職員と頑張って調理しまし、おやつの時間に皆さんと召し上がる予定でしたが、まさかの中身が固まっておらず。しかし栄養士の助言とイベント担当の頑張りにより美味しいプリンが完成しました。おやつの時間には間に合いませんでしたが、みんなで作った料理は格別に美味しかったです。外出するのは難しい時期なので、ご利用者の意見を聞きながら、今だからこそできる室内のイベントをたくさん実施していきたいと思います。

**【4月20日～4月26日】**

■ゆかりの杜：加藤　知佐さん

・ご利用者、職員の体調に留意しながら、感染拡大予防策をしっかり実施していきます。23日発行のお手紙についてはCMさんを含め、ご本人、ご家族の理解を得ています。職員の体調を心配してくださる方も多く、このご時世ですが、できるだけ通所を続けられることを願っていると応援頂きました。

■グループホームはごうの杜：小山　匡信さん

・入居者さんも手作りマスクの報道を見て「私も縫物得意だからマスク作ろうかな？」とお話があり、職員と一緒に手作りマスクを作成されておりました。職員も自宅で作った手作りマスクを着用し「上手じゃないけどたくさん作って社会貢献していきたいね。」と話されておりました。

■デイサービスみやぎの杜：高橋　美也子さん

・先週も出かけられない、マスクで苦しいなどのストレスを、食で発散しています。火・水と餃子の皮を使用してピザ作り。『誰が発明したの？』と喜ばれる方もいらっしゃいました　また、『ピザ大好きなの。こんな小さいのじゃなくて大きいの食べたいわよ』という方もいらしたので、その方には個別で宅配ピザなどのチラシから好きなものを選ぶ、などのイベントを行いたいと思います。ちなみに、今週はラーメン屋さんイベント(もちろんみやぎの杜でです)を企画中。長期戦になると思うので、いろんな選択肢を増やして楽しみながら、もちろんみなさんの健康管理にも気を付けて過ごしたいと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊　麻衣子さん

・20日にコロナについての勉強会を行いました。デイ利用中に熱発者が出た時の区切りや防護服の着脱方法など各スタッフ内容関係なく質問が多くあがりました。また、勉強会に参加したスタッフからは「平常心（冷静）で対応しなくてはいけない」「事前にイメージトレーニングをしておくことが必要」「各スタッフよりこまめに情報共有が必要」「自分が介入者にならないようにしたい」「出来る対応を1つ1つ継続することが大切」「正しい知識を持つ」「1人1人健康状態の確認も必要」「同じ対応することが大切」など多く所感をもらっています。報道や行政のコメントなど状況が変化していく毎日です。まずは我々がすぐにとりくめるものから継続して、利用されている方たちに不安を感じさせないようにしていきたいです。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間　淳さん

・18日、2階に入所されているHさんと奥様でZOOMを使用したテレビ電話をしていただきました。アプリの取得と入室までの操作はやや難儀しましたが、本人は画面を見て涙を流されておりました。奥様も全然会えなかったので、顔を見れて安心しましたと。その時の様子の写真を添付しました。

・コロナウイルスと共生するために、命を守るために、我々は備えていかなければなりません。ただ、必要以上に非日常を創り出すことで、結果としてお年寄りやご家族を過度に萎縮させないように配慮しなければなりません。本人は変わらぬ（気付かぬ）日常を過ごしているという事実が欠落しないように努めたいです。現在のお年寄りの日常をできる限り壊さぬよう（気付かれぬよう）、備えを万全にしていきたいと思います。



■杜の家ふたば：岩渕　文智さん

・毎朝、ミーティングの際に健康管理唱和を行うことで、スタッフのコロナウイルス感染予防の意識がより高まっております。ご利用者さんと一緒に畑仕事を行ったり、駐車場でお茶飲みをしたりしながら過ごしました。室内でのレクリエーションの充実に努めております。買い物に行きたいというご利用者さんから希望がありましたが、コロナウイルス感染のリスク説明し、ご理解をいただきました。

■デイホームいずみの杜：大﨑　雅之さん

・今週は外出イベントの代わりに、ちらし寿司作りをおこない、ご希望のあったお刺身を皆さんで食べました。いつも半分も食べない利用者さんも、「マグロがおいしい」と全量召し上がっておりました。皆さんからも、「自分たちで作ると美味しいね」「いつもより食べられた」と、喜びの声をいただきました。来月は手打ちうどんを作る予定です。

■ケアハウスいちいの風：亀澤　加代さん

・23日ご家族様へ、コロナウイルス感染拡大における入所施設での対応についての文書を送付いたしました。あるご家族より、「ウイルスに関しての正しい知識を知ることができて、安心しました。いろいろ大変かと思いますが、何かできることがあれば言って下さい。」とお話がありました。正しく理解し、感染しない対策を最大限行い続けることが大事だと改めて思ったと同時に、事業所を思って下さるご家族に、本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

**【4月27日～5月3日】**

■杜の家ゆづる：半澤　克也さん

・職員間でコロナ対応にお互いに声をかけながら対策を実施しています。若いスタッフさんに主婦層のスタッフが、プライベート面まで介護職員として自覚ある行動をとるよう、雑談の中で話しをする姿がよく見られます。手作りのマスクを渡すなど、みんなで意識を高めています。

■さくらグループホーム：及川　玲奈さん

・コロナの対応に伴ってスタッフがマスクをするようになり、Sさんが敏感に感じ取っています。いつも職員の服などを「あんだの良いな～」と褒めてくれます。マスクをしてから不機嫌な日が多くあります。顔が見えない事でこんなにも変わるんだなーと表情以外の言葉やしぐさでこれからどの位伝えていけるのか、まだまだこれからが本番です。面会も出来ない状況なので、毎日面会に来られていた家族へは電話にて様子を伝え、何かお知らせや同意書などを送る際には日々の様子の写真も添えて、一言添えて送るように意識しています。家族からは早く落ち着くといいですねと言葉をいただき、引き続き気を引き締めていかなければと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊　麻衣子さん

・コロナ予防でお休みされている利用者さんが増えてきましたが、利用されている利用者さんからは「家にいてもいいけど空いているなら利用したい」というお言葉を頂いています。また「外食したい」「お肉（唐揚げ）が食べたい」という声を聞き、先月より定期的に行っているおやつ作りの中で唐揚げを皆さんと一緒に作ろうかと思っております。できないことは沢山ありますが、できることは継続して皆さんと一緒に行いたいです。

■グループホームななみの杜：澤村　直子さん

・外へ出られない分、天気の良い日はウッドデッキなどに出て日光浴をしています。気温も暖かくなり、以前は換気の度に「寒い」などと言われる方も多かったですが、最近は暖かくなり勝手口を常に開けていたり、利用者さん自身も「天気いいね。風いれようかな」等と網戸にする時もあります。ある方は、東京にいる娘さんが来れない状況を毎日のニュースを真剣に見て「東京は凄いね。怖い。娘は来れないし、来ない方がいい」等と言われ、本人なりに納得している様子もあります。ただ、やはり会えない寂しさはある為、手紙のやり取りを進めると、照れながら自分で文章を考えて「じゃ、これ宜しくお願いします」と職員へ渡してくれます。返事が届くととても喜ばれ、先週もまた手紙を1通送りました。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋　美也子さん

・先週は出張ラーメン？出前？というのも、お店にお願いして、スープ、麺、チャーシュー、メンマなどなどを持ち込んで、ラーメン屋さんで働いたことがあるスタッフに麺をゆでてもらい、みなさんに提供するイベントを行いました。今まで自由に外食できていたのにそれが出来なくなったので、代替イベントとして行いましたが、口々に『おいしい！！』と話され、おいしいものを食べれる幸せを共有できたと思います。準備などいろいろとスタッフに負担をかけましたが、みなさんがおいしいと言ってくれることで報われると思います。いつまでコロナウイルスが猛威を振るうかわかりませんが、平穏な日常を取り戻すため、お年寄りの安全を守るため、基本的なことをしっかり行っていきたいと思います。DSみやぎには90歳オーバーの方も多く、最高齢は97歳です。もしも私たちが飲食店に行きたい、少しぐらいならいいだろう、最近仙台市では収まってきてるし、などと思って勝手な行動をすれば、目の前の方の命を脅かすことになります。他人事ではなく、自分事として考えられるように一人一人のモラルに呼び掛けていきたいと思います。

■ゆかりの杜：加藤　知佐さん

・新型コロナウイルスマニュアルの読み合わせをご利用者と一緒に行っています。皆さんからも質問があり、都度一緒に学ばせて頂きました。万が一の場合に慌てないよう今後もしばらく読み合わせを続け理解を深めていきたいと思います。

■グループホームはごうの杜：小山　匡信さん

・先日ゾーニングの想定について菊池さんと相談し全職員に伝達しております。想定訓練の伝達を行うことで「普段との生活ががらりと変わってしまうこと」「入居者さんの対応に苦慮する可能性が高いし、環境の変化で心身ともに変化が出てくるのが分かる」と職員さんから話がありました。より一層コロナウィルス対策をしっかり行うことの重要性を再認識することができました。

■グループホームゆづるの杜：髙澤　智子さん

・利用者さん、スタッフ共に体調管理を行いながら過ごしています。急に暖かくなったり、朝晩は冷えたりするので、温度、湿度の管理を意識していけたらと思います。1週間に2階のユニットで2名がお亡くなりになり、なんとなくぽっかりと穴があいたような、さみしさを感じるときもあります。コロナの影響で葬儀でのお別れもできませんでしたが、気持ちの整理をしながら次の利用者さんの受け入れ準備を行っていきたいと思います。暖かくなってきたので、天気の良い日は近所の散歩や花壇に花を植えたり、楽しみながら出来ることを行っていきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤 まゆみさん

・金曜日にGM佐藤さんのＩパットと携帯電話をつないで頂き面会の希望が強いご家族とご利用者さんがTV電話でお話しすることができました。「元気そうな顔が見れて安心しました」とご家族。ご利用者さんは初めてのTV電話に最初は戸惑いながらもスタッフが隣で説明しながら話していくと表情が和らいでいきました。だんなさんの姿や声に恥ずかしそうにはにかむ奥さまの表情が印象的でした。ご家族の面会希望があった時だけではなく、ご利用者の様子（落ち込み等）やお誕生日など、つかの間であってもうれしさや安心できる時間をお手伝いしていきたい。今後はお話しする場所や時間の配慮を行っていきながらご利用者とご家族の橋渡しをしていきたいと思います。

■ケアハウスいちいの風：亀澤 加代さん

・南側のウッドデッキに沢山の花々が咲いています。ご利用者さんたちが育てて下さっています。ここに居るとほんとにコロナが流行しているのか、忘れてしまします。外出を自粛する中、癒される空間です。この日常が続くように、予防に努めていきたいと思います。

■グループホーム「けやき」：大﨑 美智子さん

・希望の杜駐車場の桜の花見を入居者さんと一緒に行っています。みなさん「うわ～こんな近くで見れるなんて贅沢ね～」と笑顔で話されております。今後もできることを工夫しながらみなさんと一緒に楽しんでいきたいと思います。

・27日夕方より、ご入居者全員のご家族へご入居者の近況報告とゾーニング同意書を郵送にあたり不明な点やご家族のお困りごとがないか電話にて聴取しております。ご家族のみなさん、今のところ不便もなく生活されているとので同意書に関しても不明な所はないとの事でした。また、ご家族より「目に見えないコロナウイルスで職員みなさんの対応は大変でしょうが、コロナウイルス関係のお便りや同意書など事細やかにお知らせいただいて安心してお任せできます。職員のみなさんもお身体に気を付けて下さいね」とご意見をいただいております。職員全員でこの温かい想いを共有させていただき、今後の取り組みの励みにしていきたいと思います。

■グループホームかなでの杜：佐藤 政博さん

・コロナの影響の他、ステップワゴンも車検直前で動かなくなってしまい皆さん外出できていませんが、職員が自宅から遅咲きの八重桜を持ってきたり、お好きな商品を聞いておつかいをしてきたり、飼い犬を連れて遊んでいただいたりと、少しでも日常にスパイスを与えようと自発的に行動を起こしております。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間 淳さん

・2日、2階に入所されているHさん、3日、3階に入所されているBさんに、ZOOMを使用し本人と家族を繋いでいます。Bさんは当日98歳のお誕生日で、一目顔を見たいとご家族より。スマホを持っていなかったため、佐久間のスマホとノートパソコンでZOOMを繋ぎテレビ電話をしていただきました。「久しぶりに元気な顔を見れて本当に安心しました」と話されていました。

・「お会いできない方の近況報告」を本日リスト化しました。まだまだ多くの方への配慮が必要ですが、まずは可視化できたことで、どの方にどのような配慮が必要かを確認できたのだと思います。今後はフロアの担当スタッフから本人・ご家族に提案し、柔軟に繋がれるようにしていきます。今だからこそ気付けること、今しかできない関わりが多々あるということで、新型コロナウイルスによる現在の状況をすべて悲観せず、むしろ力に変えていきたいと思います。